

中央会NEWS

「インボイス制度への対応講習会」を開催

平成31年10月1日から消費税軽減税率が導入されるのにもない、課税業者・免税事業者を問わず適切な対応が選択できるよう、11月26日広島会場及び福山会場にて「消費税軽減税率対策窓口相談等事業講習会」を開催した。

大阪で公認会計士・税理士として活躍され、インボイス制度に精通している曾川俊洋氏より、説明を受けた。消費税軽減税率の導入によって、対象品目の売上・仕入がある事業者は税率ごとの区分を追加した請求書等の発行や記帳などの経理区分が必要となる。また、平成35年10月1日からは適格請求書等の保存が仕入税額控除の要件となるインボイス制度が導入される。

インボイス導入後、仕入れが同額なら課税事業者から仕入れたほうが有利となり、免税事業者が取引から排除されるとの懸念が指摘されていることを踏まえ、免税事業者も含めて、すべての事業者がこの制度の正確な理解と適切な運用ができるよう講習会を実施した。今後、免税事業者も含



め、事前の対策に遺漏がないことを期待している。

組合士会NEWS

川根柚子協同組合の事例に学ぶ

広島県中小企業組合士会(会長 永井幸雄)では、例年、会員組合士の資質向上を目的に視察研修会を開催しており、今年度は11月15日、会員10名とともに安芸高田市の川根柚子協同組合を訪問。

当組合は、高宮町川根地区で柚子の生産を行う事業者によって組織され、柚子加工品の製造・販売、柚子加工施設の



熊高理事長の概要説明

管理運営、高齢な組合員の柚子畑・柚子木の管理作業受託などの共同事業を行っている。

当日は、柚子の

収穫体験や加工施設の見学とともに熊高昌三理事長より組合の事業活動について話を伺った。組合では「人に見えないことを大切に」を基本理念と



柚子の収穫体験

し、平成26年9月広島県のHACCP認証を取得し安全安心な商品作りに取り組んでいる。さらに現在、国内のみならず海外でも通用する認証「GLOBAL G.A.P」の取得を目指して活動しており、生産・製造の両面で安全安心を追求し、グローバル市場をも目指した商品価値向上の取組みについて学んだ。